

大規模災害協定に基づく連絡会（始良・伊佐ブロック）議事録

日 時：令和4年6月2日（木）14:00～15:00

場 所：始良・伊佐地域振興局 本館4階第1会議室

参加者：11名

始良・伊佐地域振興局	橋口 高行	建設部長
	小倉 孝一	河川港湾課長
	新窪 優幸	技術補佐
	大内田正人	技術調整係長
	中山 文人	伊佐市駐在参事
測量設計業協会	上野 竜哉	副会長
	中島 勝弘	理事（担当責任者）
	中西 修	理事（担当副責任者）
地質調査業協会	梶原 景友	理事長
	宇都 忠和	理事
	濱田 長弘	連絡責任者

1. 橋口建設部長より挨拶
2. 中島測量設計業協会理事より資料の説明
3. 梶原地質調査業協会理事長より挨拶
4. 宇都地質調査業協会理事より資料の説明
5. 意見交換
 - ・橋口部長・・・昨年調査等で何か困った事とかなかったか。
中島理事・・・昨年、一昨年と2年連続で調査を行ったが特になかった。
上野副会長・・・業者の手配もうまくいった。台帳を上手く使えた。
 - ・橋口部長・・・台帳はどこから何日ぐらいで送られてくるのか。
上野副会長・・・台帳は技術センターより3日後ぐらいに送られてきた。
土日に災害が発生していたせいでもあるかもしれない。
 - ・橋口部長・・・調査はボランティアか。
上野副会長・・・調査は初動調査でありボランティアである。
協定書に記載してあるので確認して下さい。
 - ・橋口部長・・・ケガとか発生した場合は。
上野副会長・・・それぞれの会社で対応することになっている。
監理課と調整している中で課題になっているのがその後の随契に至るまでのタイムラグが発生していることである。
 - 橋口部長・・・暫定契約とか行えないか監理課とも調整中であり、すみやかな契約が出来るよう指示してある。

- ・梶原理事長・・・地すべり地帯があるところはちょっとした雨でもくずれやすい。
過去において調査したところは熟知している人間もいるので、人道的な支援を用意してある（アドバイスなど）
- ・上野副会長・・・昨年大隅のほうでは事前に台帳をCDにおとしたものを協会に貸与されていた。可能であればそのようなことが出来ないか。
橋口部長・・・技術センターと協議して検討します。
- ・小倉課長・・・通常随契は3日はかかる。契約出来てないから着手出来ないというようなことも工事では過去においてあった。タイムラグが発生する場合がある。
即日随契というのが出来るようにしたこともある。
- ・上野副会長・・・国土交通省では暫定契約書をいうのをかわすこともある。万が一事故が発生した時の場合とか銀行から融資を受ける時とか利用できるのでは。
個所数だけで金額はざっくりと記載されている場合もある。
- ・中山参事・・・昨年、一昨年と報告書もきれいに仕上げてください。
調査時に早急に対応すべき箇所が確認された場合は調査途中でもいいので教えてほしい。

